

米沢市農業委員会会長  
伊藤精司様

米沢市長 中川 勝

令和4年7月14日付けで提出のあった令和4年度降ひょう被害対策に関する要望書について、下記のとおり回答いたします。

記

- 1 米沢の味「ABC」のひとつである舘山りんごは米沢を代表する果樹であり、西洋なし等も本市の重要な果樹作物です。今回の降ひょう被害の実態を早急に把握し、農業者の生産意欲が鈍化しないよう適切な支援策を講ずること。

回答

6月3日の降ひょう被害については、舘山地区を中心とした本市の南西部の中山間地域で被害を受けており、その状況を県に報告しております。今後、果樹作物の成長に合わせて被害の状況把握をさらに進め、その内容を県に報告するとともに、降ひょう被害に係る支援策の実施について働きかけを行って参ります。

- 2 被害を受けた果樹等の販路が確保できるよう関係団体に対して働きかけを行うこと。

回答

この度の被害により、りんごなどの等級が下がることが懸念されますので、本市としても被害を受けた果樹の販売の面で各関係団体へ協力をお願いするなどし、果樹農家の所得の確保ができるよう支援して参ります。

- 3 近年続く自然災害と資材等の価格高騰により農業者の疲弊は増しており、安心して農業経営が継続できるよう、収入保険等の加入促進対策と更なる負担軽減策を検討すること。

回答

収入保険等の加入促進対策につきましては、6月補正による予算措置で県と市が協調して支援する収入保険新規加入緊急奨励事業を実施することとしています。この事業は、令和4年度の新規加入者に対して、3万円又は掛捨て保険料実費の額の低い額を支援するもので、農業者の加入促進につなげていきたいと考えています。また、資材等の価格高

騰に対する支援につきましても、6月補正による予算措置にて市単独事業として稲作経営継続支援事業を実施することとしており、稲作農家に対して主食用米の生産10a当たり1,000円の支援をし、生産意欲の維持・向上を図っていきたいと考えています。今後も安心して農業経営が継続できるよう状況に合わせた支援策を実施して参ります。